

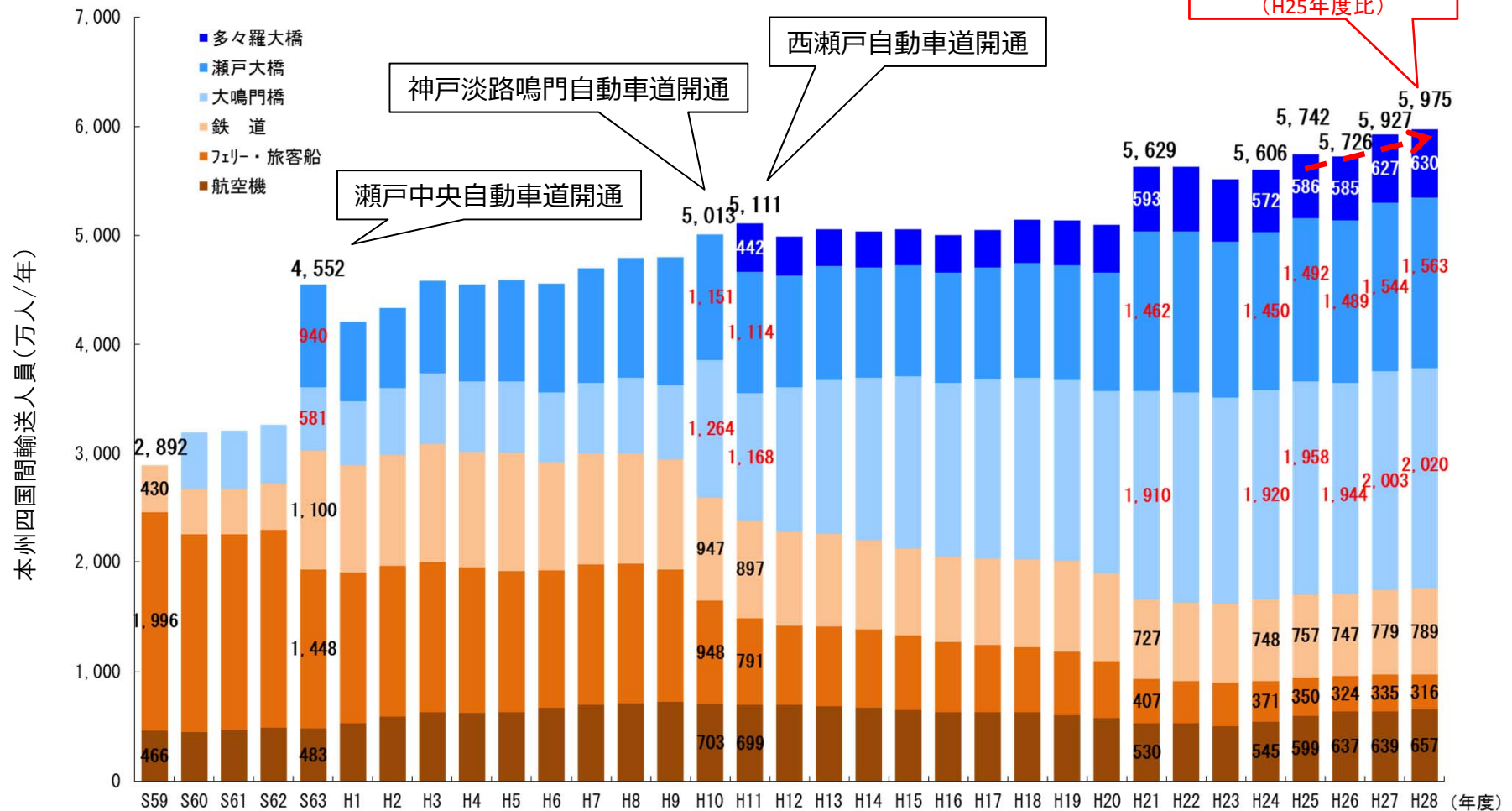
(3)本州～四国間交流の現状 (外国人観光客の周遊分析)

本州四国間の交流(人の交流)

【参考】平成29年度第1回協議会資料より

- H28年度の交流人口は5,975万人／年であり、H27年度に対して48万人（約0.8％）増加。
- フェリー・旅客船は減少しているが、それ以外は増加。
- H25年度（協議会目標の基準年）に対して233万人（約4.1％）増加。

◆交通機関別の本州四国間輸送人員の推移



出典）本州四国連絡高速道路(株)資料、四国運輸局「業務要覧」より作成

注1：瀬戸大橋開通（1988年4月）以前の鉄道の輸送人員は、宇高連絡船の利用客
開通後は、JR瀬戸大橋線の輸送人員

注2：瀬戸大橋、大鳴門橋、多々羅大橋はそれぞれ県境に架かる橋

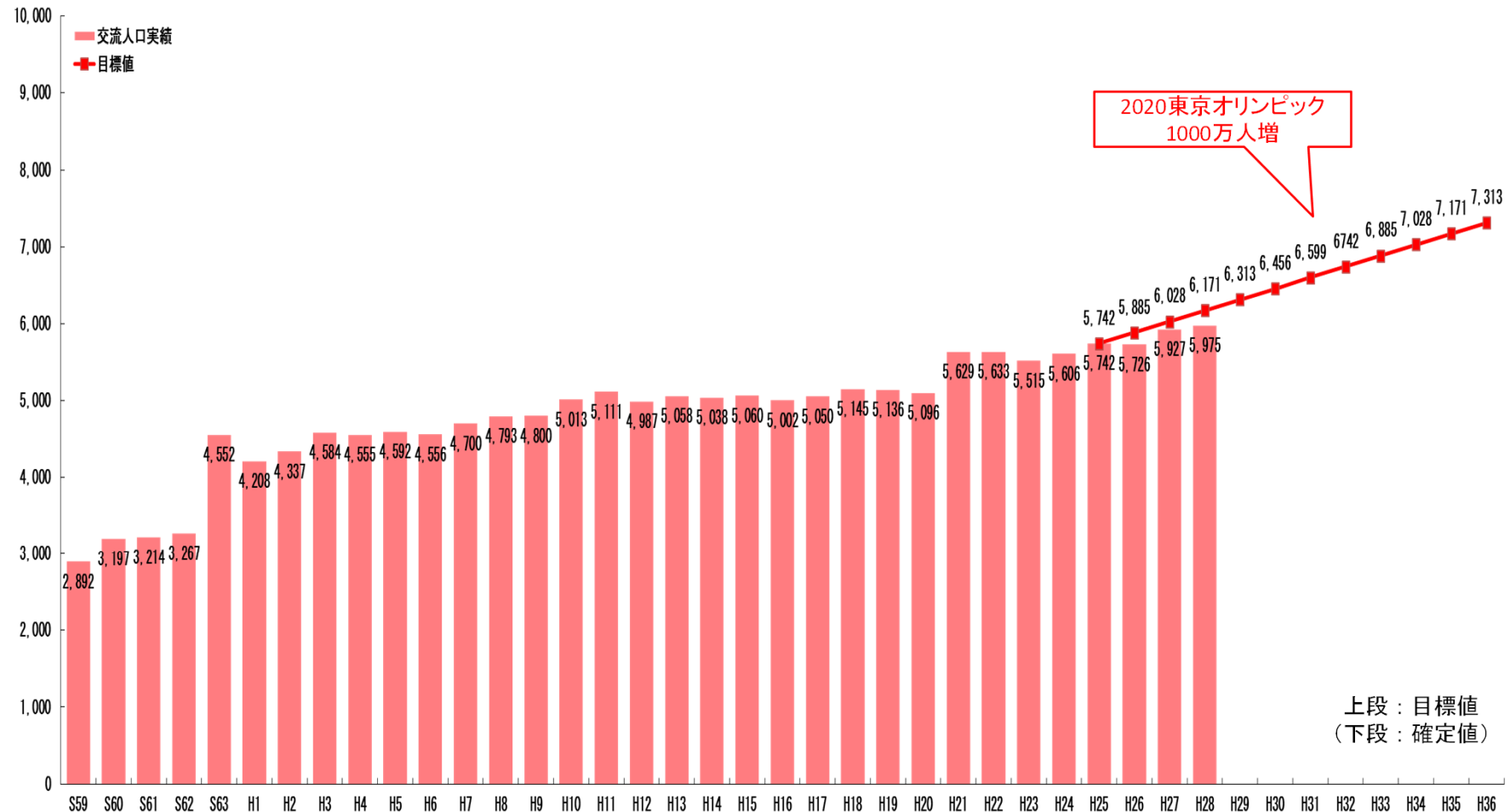
本州四国間交流人口の達成状況

【参考】平成29年度第1回協議会資料より

○環瀬戸内海地域交流促進協議会で設定した目標の達成状況は、平成28年度では196万人実績が少なく開きが見えてきている。

○さらに取組を強化・拡大し、2020年（東京オリンピック開催）までに1000万人増を目指す。

◆交通機関別の本州四国間輸送人員（推計値）の推移



出典）本州四国連絡高速道路(株)資料、四国運輸局「業務要覧」より作成

注1：瀬戸大橋開通（1988年4月）以前の鉄道の輸送人員は、宇高連絡船の利用客
開通後は、JR瀬戸大橋線の輸送人員

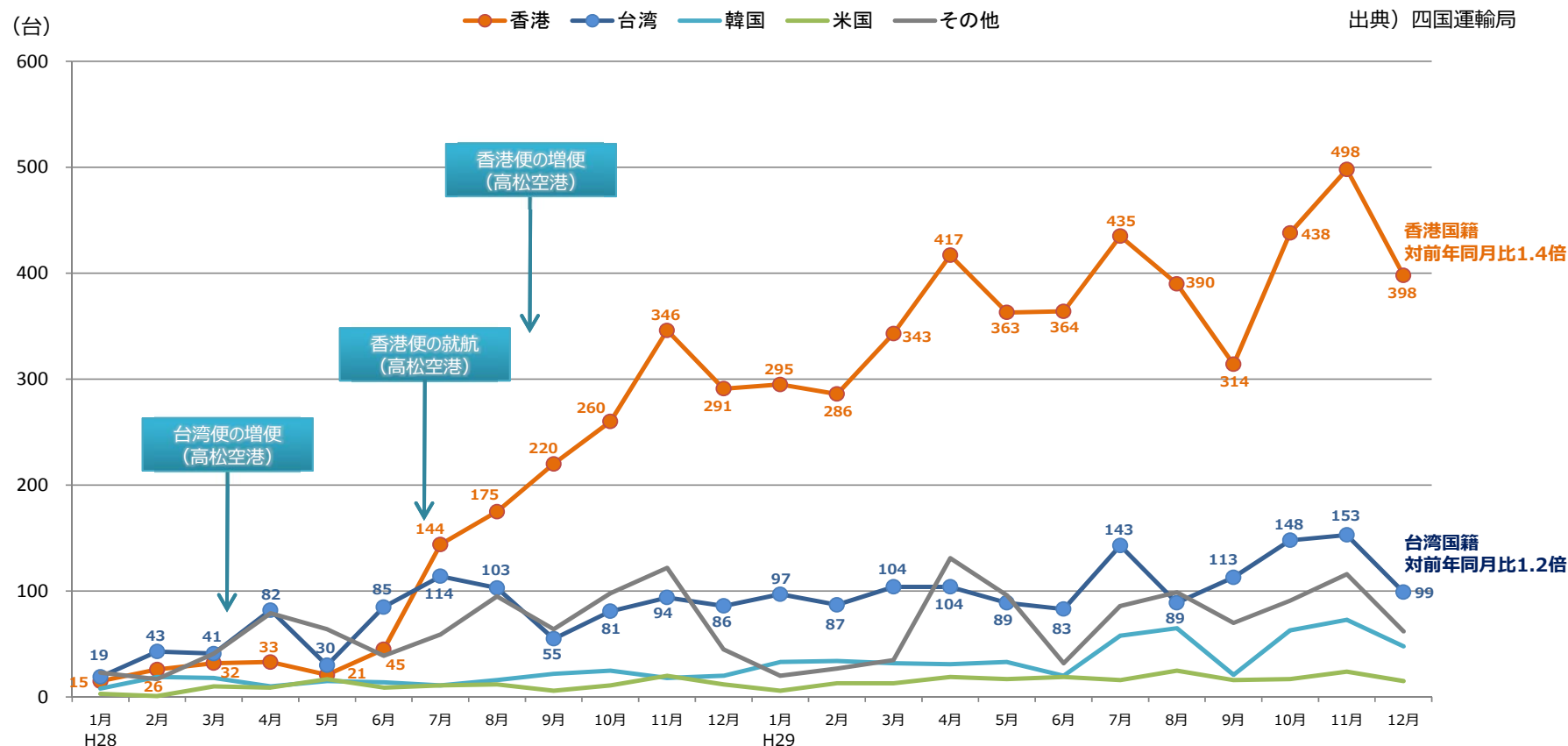
注2：瀬戸大橋、大鳴門橋、多々羅大橋はそれぞれ県境に架かる橋

四国における訪日外国人のレンタカー状況

【参考】平成29年度第1回協議会資料より

- 四国内のレンタカー利用は台湾便の増便及び香港便就航に伴い大幅に増加。
- 四国では、訪日外国人のレンタカー利用者の増加に伴い、観光施設・休憩施設（道の駅等）のインバウンド受入体制の整備（案内板等の英語表記、情報発信の多言語化等）が課題。
- 今後、訪日外国人の国籍や訪問観光地先を把握し、重点的に対応すべき地域を把握。

◆ 四国における訪日外国人のレンタカー利用状況の推移（主要レンタカー会社における主要営業所での集計）



※台湾便の増便：平成28年3月21日より 4便/週 → 6便/週

※香港便の就航：平成28年7月 6日より 3便/週

※香港便の増便：平成28年9月 4日より 3便/週 → 4便/週

※主要レンタカー会社16社の交通結節点等に所在する営業所にて調査を行ったものであり、四国全体のレンタカー利用状況を調査したものではない。

『山陰・瀬戸内・四国エクスプレスウェイパス』の利用者周遊分析

◆『山陰・瀬戸内・四国エクスプレスウェイパス』の概要

NEXCO 西日本と兵庫県道路公社は、訪日外国人を対象とした周遊型の高速道路割引企画「山陰・瀬戸内・四国エクスプレスウェイパス」を、平成29年3月25日から販売している。本商品は、山陰、瀬戸内、四国10 県の自治体等とレンタカー会社各社との連携により実現したもので、**山陰、瀬戸内、四国の高速道路で初めてのインバウンド向け割引企画**となる。

【ポイント①】 山陰・瀬戸内・四国地域で初！ インバウンド向け周遊割引商品！

【ポイント②】 山陰・瀬戸内・四国の3 地域内の高速道路が乗り放題！

(本四高速・阪神高速など他の道路は適用外。)

【ポイント③】 3 日間～10 日間のプラン構成で多様な旅行ニーズに対応！



◆対象者

外国のパスポートをお持ちの方または外国に永住権をお持ちの日本人

◆プラン及び販売価格

プラン名	利用期間	販売価格 (普通車)
3days	連続する最大3日間	6,000円
4days	連続する最大4日間	7,000円
5days	連続する最大5日間	8,000円
6days	連続する最大6日間	9,000円
7days	連続する最大7日間	10,000円
8days	連続する最大8日間	11,000円
9days	連続する最大9日間	12,000円
10days	連続する最大10日間	13,000円

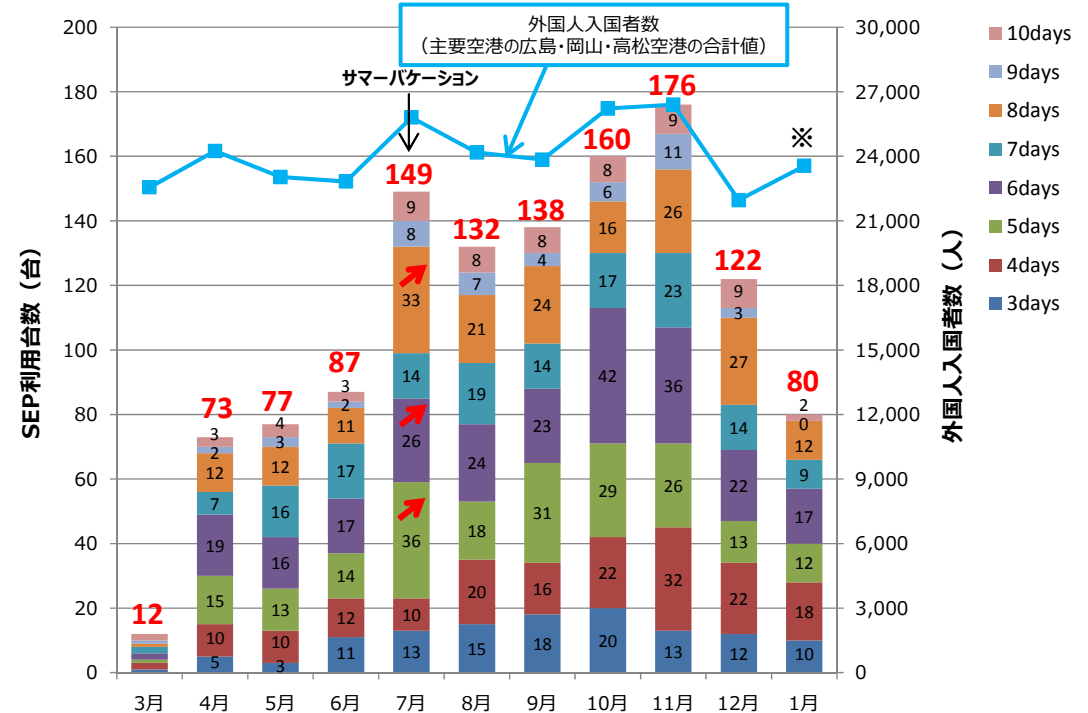
利用台数とプランの推移

- 10か月間の利用台数は約1,200台であり、**長期（4日～8日）プランを利用する車両が多く**、1台当たりの平均トリップ数は7回。
- 利用者は7月以降に大幅に増加しており、訪日外国人への広報や口コミによる認知度の高まりが想定される。また、7月～11月にかけて5日～8日プランが特に増加しており、夏季は香港などサマーバケーションによるものと考えられる。12月以降は関係する空港の訪日外国人入国者が減る傾向のため、利用者も減少傾向。

◆プラン毎の利用台数（発売～H30.1末）



◆プラン毎の月別利用台数（発売～H30.1末）



◆プラン毎の利用トリップ数（発売～H30.1末）

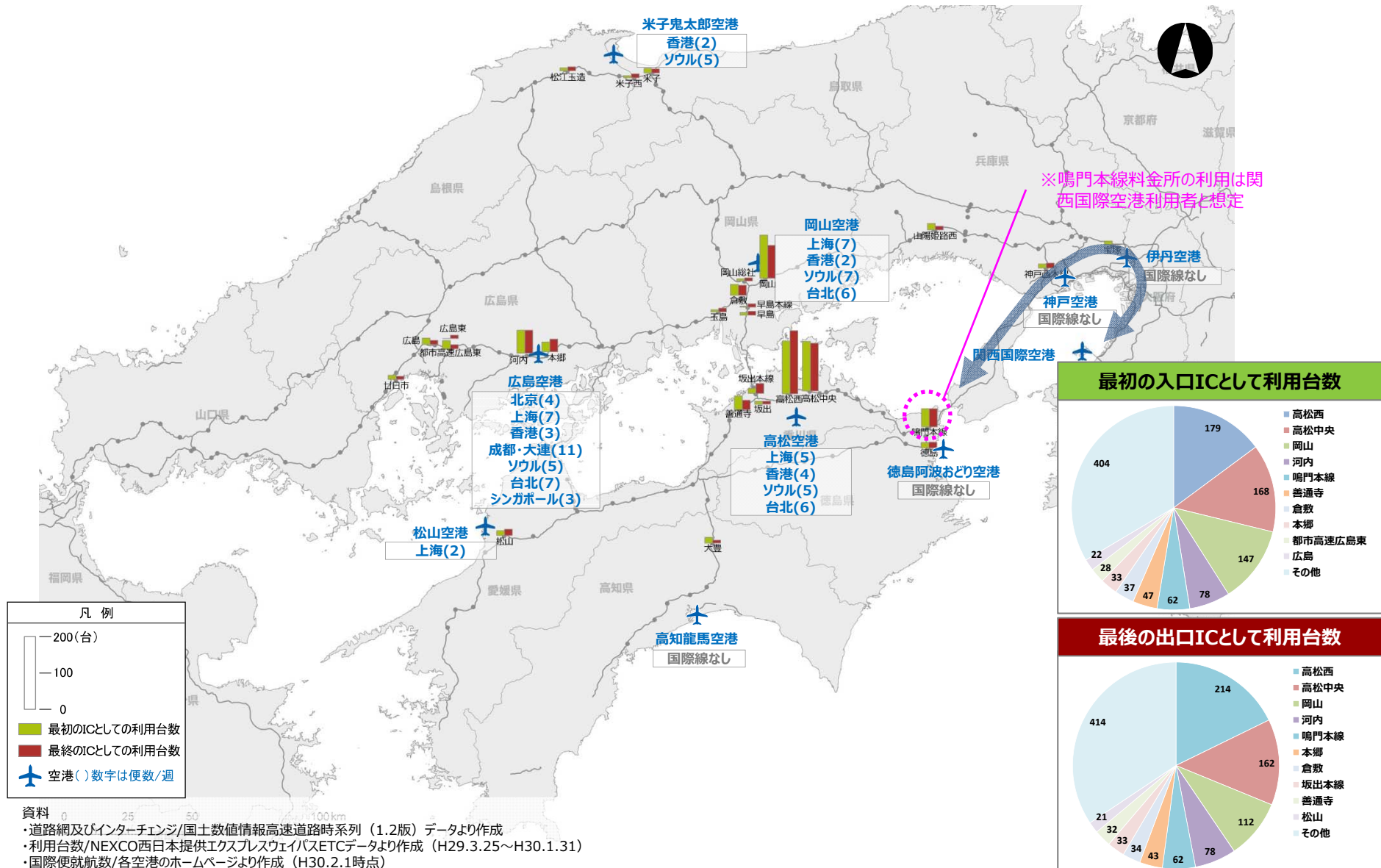
プラン名	3days	4days	5days	6days	7days	8days	9days	10days	計
利用台数	121	174	208	244	152	195	47	65	1,206
総トリップ数	555	977	1,319	1,870	1,267	1,719	481	686	8,874
1台当たりのトリップ数	4.59	5.61	6.34	7.66	8.34	8.82	10.23	10.55	7.36

・利用台数、利用トリップ数/NEXCO西日本提供エクスプレスウェイバスETCデータより作成
(H29.3.25～H30.1.31)

外国人入国者数/法務省入国管理局統計データより作成
※平成30年1月の外国人入国者数は速報値

訪日外国人レンタカー利用者の入出国空港

- 国際便の就航が多い、高松・岡山・広島空港に近いICが最初の利用IC、最後の利用ICとして利用が多い。
- 高松西ICと高松中央ICを合わせると利用車数の約3割を占め、**高松空港がレンタカー利用者の多い空港**となっている。



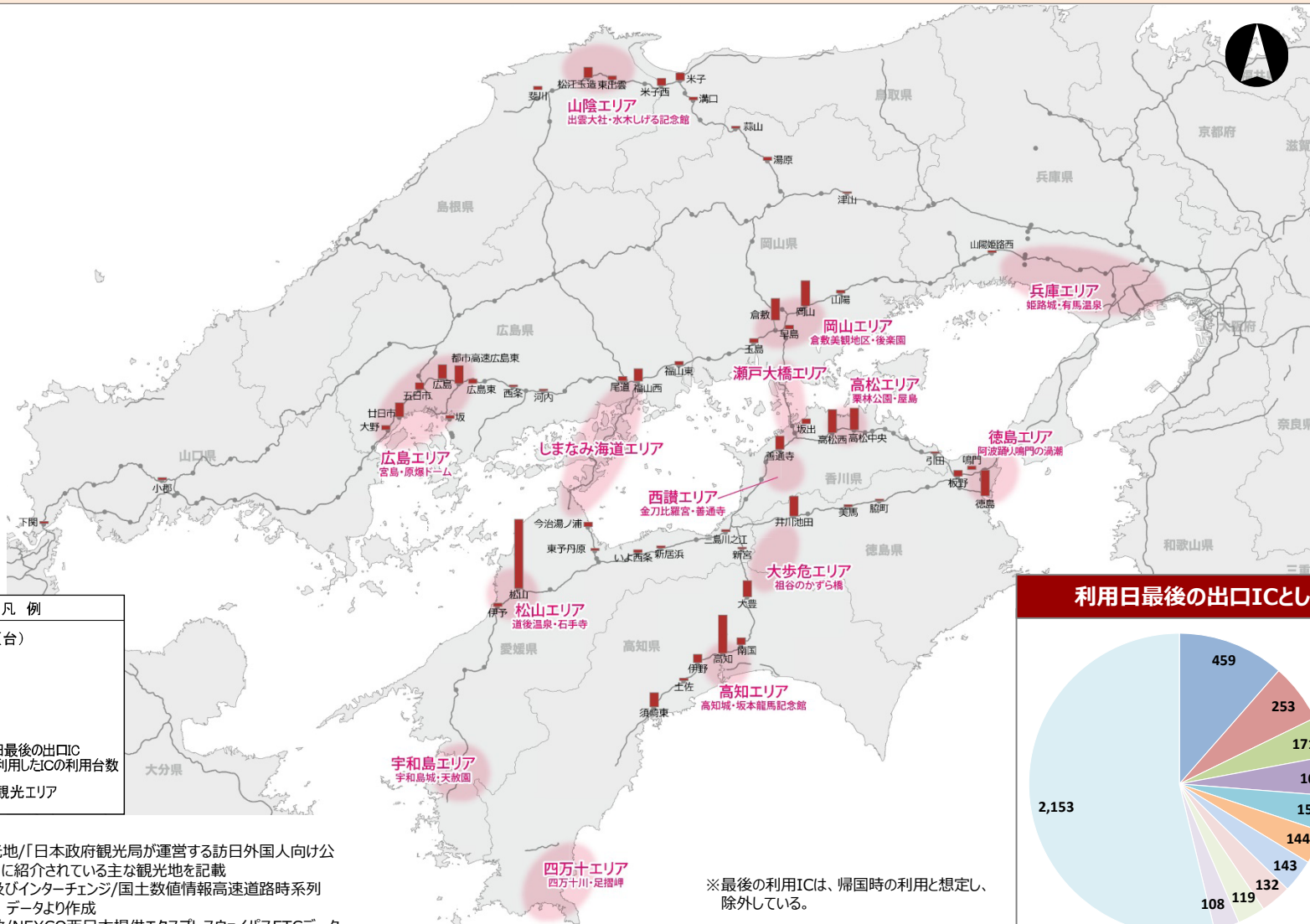
∞

- ∞

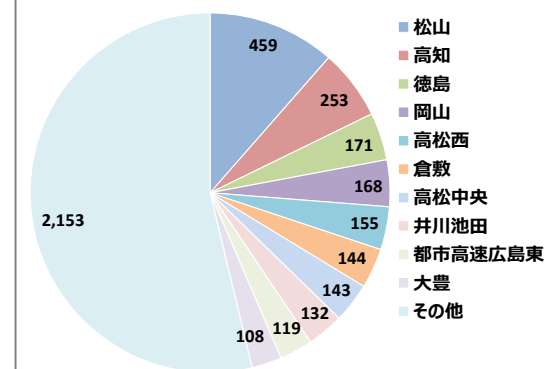


訪日外国人レンタカー利用者の宿泊地域

- 宿泊地域は、愛媛県の松山エリアが最も多く、**道後温泉での宿泊が多いもの**と考えられる。
- 都市部の周辺ICの利用台数が多く、**都市部は宿泊施設が多く利用しやすいもの**と考えられる。
- 徳島県の大步危エリアは**秘境の地としてインバウンド観光客も多く、宿泊地としても多くの利用**されている。



利用日最後の出口ICとして利用台数



訪日外国人レンタカー利用者の周遊行動（トリップ）

- 中四国地域の瀬戸内海沿岸での周遊（兵庫⇔岡山⇔広島、徳島⇔香川⇔愛媛）が多くなっている。
- 本四三橋の利用を見ると、瀬戸大橋ルートが最も多くなっており、淡路・鳴門ルート、しまなみルートが同程度になっている。

